

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江口 達夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長

(氏名) 福田 弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	14,796	19.9	1,380	57.5	1,489	54.5	611	61.3
21年3月期第3四半期	12,345	—	876	—	963	—	379	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	22.87	—
21年3月期第3四半期	13.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	18,651	11,522	61.8	435.36
21年3月期	18,377	11,241	60.8	408.47

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,522百万円 21年3月期 11,175百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00 ～10.00	8.00 ～10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	9.6	1,500	49.3	1,600	46.7	650	69.9	24.30

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 29,748,200株 21年3月期 29,748,200株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,282,029株 21年3月期 2,388,841株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 26,747,737株 21年3月期第3四半期 27,333,525株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注記事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア経済の改善を背景に輸出が増加、エコ減税による景気対策効果も加わり、一部に回復の兆しが見られたものの、依然として雇用・所得環境は厳しい状況が続いており、全般的には低迷し、先行き不透明感を抱えたままの状況となっております。

このような環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高14,796百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益1,380百万円（同57.5%増）、経常利益1,489百万円（同54.5%増）となり、四半期純利益は611百万円（同61.3%増）と増収増益を確保することが出来ました。

なお、前年同期の連結業績には、平成20年5月に株式を取得したユニテックフーズ(株)の前第1四半期連結会計期間の業績は含まれておりません。同社の前期業績は、前第2四半期連結会計期間より連結しております。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりであります。

(1) 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高9,583百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益1,107百万円（同57.2%増）となりました。厳しい経済環境下、販売数量は前年同期を若干下回る結果となりましたが、海外原糖相場が高騰する中、堅実な原糖仕入、燃料費や管理費コストの削減に努めた結果、増収増益となりました。

(2) 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,051百万円（前年同期比68.5%増）、営業利益0百万円（前年同期営業損失106百万円）となりました。厳しい経済環境下、各部門は苦戦したものの、上述のとおり、前年同期には連結子会社であるユニテックフーズ(株)の業績が6ヶ月間（平成20年7月～平成20年12月）のみの連結でしたが、当第3四半期連結累計期間においては同社の業績が9ヶ月間（平成21年4月～平成21年12月）連結されているため、増収増益となりました。

(3) 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高1,160百万円（前年同期比109.3%増）、営業利益426百万円（同2.0%減）となりました。マンション分譲事業の売上により大幅な増収となりましたが、不動産市況の悪化の中、期待した収益を確保することは出来ませんでした。賃貸事業においては、本社ビルの賃貸部分の一部を自社利用に変更しましたが、概ね堅調に推移しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、18,651百万円となりました。各項目における状況は以下のとおりであります。

①資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.7%増加し、8,341百万円となりました。これは主に売掛金の増加、商品及び製品の増加等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、10,310百万円となりました。これは主に繰延税金資産の減少や貸倒引当金の増加等によるものであります。

②負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ3.4%増加し、4,358百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加、短期借入金増加等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5.2%減少し、2,770百万円となりました。これは主に長期借入金の返済、持分法適用に伴う負債の減少等によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し、11,522百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、投資有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資産」という）は、前連結会計年度末に比べ509百万円増加し、2,822百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、1,470百万円（前年同期比78.5%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産が増加から減少に転じたこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、500百万円（前年同期比68.4%減）となりました。これは主に長期貸付金による支出が増加したものの、子会社株式の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、459百万円（前年同期697百万円収入）となりました。これは主に短期借入金純増加額の減少、自己株式の取得による支出の増加等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況や今後の市場動向等を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、平成22年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便的な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,503,712	1,994,607
受取手形及び売掛金	1,765,173	1,581,575
有価証券	352,072	322,004
商品及び製品	1,538,102	1,372,187
仕掛品	86,262	96,720
原材料及び貯蔵品	710,083	838,445
その他	1,388,808	1,840,903
貸倒引当金	△3,194	△3,425
流動資産合計	8,341,021	8,043,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	711,952	749,545
機械装置及び運搬具(純額)	181,106	197,955
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	43,990	56,181
有形固定資産合計	2,985,885	3,052,517
無形固定資産		
のれん	1,144,752	1,092,626
その他	66,207	77,838
無形固定資産合計	1,210,959	1,170,464
投資その他の資産		
投資有価証券	4,021,185	4,030,391
その他	2,189,843	2,140,070
貸倒引当金	△97,512	△58,883
投資その他の資産合計	6,113,516	6,111,577
固定資産合計	10,310,361	10,334,559
資産合計	18,651,383	18,377,578

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,040,619	1,193,699
短期借入金	1,470,064	1,349,996
未払法人税等	410,889	3,232
賞与引当金	56,261	106,430
役員賞与引当金	7,650	10,100
その他	1,373,359	1,551,702
流動負債合計	4,358,844	4,215,159
固定負債		
長期借入金	1,584,704	1,675,054
退職給付引当金	547,103	574,943
役員退職慰労引当金	131,341	107,798
持分法適用に伴う負債	64,475	120,411
その他	442,729	442,915
固定負債合計	2,770,353	2,921,123
負債合計	7,129,197	7,136,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,559	2,508,451
利益剰余金	8,033,575	7,667,986
自己株式	△805,457	△561,928
株主資本合計	11,261,136	11,138,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	267,714	42,314
繰延ヘッジ損益	△6,666	△5,736
評価・換算差額等合計	261,048	36,578
少数株主持分	—	65,748
純資産合計	11,522,185	11,241,296
負債純資産合計	18,651,383	18,377,578

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,345,299	14,796,181
売上原価	9,287,053	11,042,304
売上総利益	3,058,245	3,753,876
販売費及び一般管理費	2,181,643	2,373,307
営業利益	876,601	1,380,569
営業外収益		
受取利息	38,843	38,597
受取配当金	57,344	33,942
持分法による投資利益	28,511	96,325
その他	15,650	13,505
営業外収益合計	140,350	182,371
営業外費用		
支払利息	28,337	40,155
匿名組合投資損失	19,797	27,996
その他	5,165	5,778
営業外費用合計	53,300	73,929
経常利益	963,651	1,489,010
特別利益		
固定資産売却益	—	484
投資有価証券売却益	5,183	141
貸倒引当金戻入額	2,500	65
その他	26	—
特別利益合計	7,710	691
特別損失		
減損損失	23,401	2,473
投資有価証券評価損	366,872	81,386
匿名組合投資損失	—	249,999
その他	5,489	39,059
特別損失合計	395,763	372,919
税金等調整前四半期純利益	575,597	1,116,782
法人税、住民税及び事業税	204,488	497,549
法人税等調整額	△11,560	699
法人税等合計	192,928	498,249
少数株主利益	3,306	6,710
四半期純利益	379,362	611,822

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,597	1,116,782
減価償却費	113,787	108,224
のれん償却額	48,561	78,275
減損損失	23,401	2,473
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,009	△50,169
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,260	△2,450
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△44,835	38,397
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△30,327	△27,840
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,910	23,543
受取利息及び受取配当金	△96,188	△72,539
支払利息	28,337	40,155
持分法による投資損益 (△は益)	△28,511	△96,325
匿名組合投資損益 (△は益)	—	249,999
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,183	△141
投資有価証券評価損益 (△は益)	366,872	81,386
売上債権の増減額 (△は増加)	61,405	△183,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,920,096	622,303
預け金の純増 (△) 減	1,164,582	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11,837	486,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,213	△153,079
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	891,033	△754,877
その他	36,466	△45,731
小計	1,242,595	1,461,053
利息及び配当金の受取額	136,507	95,098
利息の支払額	△28,502	△29,676
法人税等の支払額	△527,066	△56,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	823,534	1,470,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△102,693	△79,368
有形固定資産の売却による収入	100	2,000
無形固定資産の取得による支出	△17,275	△729
投資有価証券の取得による支出	△105,932	△921
投資有価証券の売却による収入	85,283	—
長期貸付金の回収による収入	195,687	248,685
長期貸付けによる支出	△330,000	△470,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,282,345	—
子会社株式の取得による支出	△27,405	△202,860
その他	—	△7,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,584,583	△500,290

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	985,000	70,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△138,600	△240,282
自己株式の取得による支出	△23,755	△244,172
自己株式の売却による収入	47,430	751
配当金の支払額	△272,828	△246,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	697,247	△459,937
現金及び現金同等物に係る換算差額		
	△763	△829
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,563	509,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,154	2,313,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,725,590	2,822,739

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,385,693	2,405,166	554,438	12,345,299	—	12,345,299
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	284	832	1,116	(1,116)	—
計	9,385,693	2,405,451	555,271	12,346,415	(1,116)	12,345,299
営業利益又は 営業損失(△)	704,128	△106,363	434,866	1,032,631	(156,029)	876,601

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材及びペクチン等の天然添加物素材

(3) 不動産…………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(156,029千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

4 当連結会計年度の第1四半期連結会計期間においてユニテックフーズ(株)を子会社化したことに伴い、機能性素材事業において資産の額が前連結会計年度末と比較して3,605,227千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,583,996	4,051,964	1,160,220	14,796,181	—	14,796,181
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	232	832	1,064	(1,064)	—
計	9,583,996	4,052,196	1,161,053	14,797,246	(1,064)	14,796,181
営業利益	1,107,075	180	426,137	1,533,392	(152,823)	1,380,569

(注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品または業務

(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜

(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材及びペクチン等の天然添加物素材

(3) 不動産…………… 不動産賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(154,023千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

【所在地別セグメント】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。